平成３０年度　学校通信

松北だより「笑顔」

第１５号　　平成３０年　７月２０日（金）

本年度の松ヶ江北小学校みんなの合言葉
【あいさつ・そうじ・時間を守る】
【やる気・本気・根気】

7月　笑顔でやる気・本気・根気を見せて！
暑さに負けず、しっかり学習のまとめをしよう！

第1学期無事終了 … ありがとうございました

今学期、心から嬉しく思ったこと。たくさんありますが、そのいくつかを紹介します。

★　一人一人がめあてをもち、【本気】【根気】【やる気】を見せた運動会が行われたこと。

運動会の前に一人一人が自分のめあてをもちました。「ダンスで最後のポーズにをかっこよく決めること」「みんなで協力して楽しく演技すること」「最後まで全力で楽しく笑顔でチームと一緒にがんばること」など、様々です。そして、その言葉の通り、練習も本番も自分のめあてに向かって、【本気】【根気よく】【やる気】満々で、さらに【最後まであきらめず】にがんばりました。（練習は本番のように、本番は練習のように）自分だけではなく、友達のがんばりも認め、互いに思いやりをもって取り組む姿に感動しました。また、４，５，６年生は、学校全体の仕事を担い、責任をもってやり遂げました。真剣に働く姿に下級生も憧れの気持ちをもったようです。さすがですね。

★　元気な１年生１１名を松ヶ江北小学校に迎えることができたこと。

１年生は、１１名ですがみんなとても元気です。休み時間は全員外に出て元気に遊んでいます。中でも６年生との遊びが大好きで、いつも楽しそうに遊んでいる姿が見られました。６年生のみなさん、ありがとうございました。また、返事やあいさつの声が本当に大きいです。名前を呼ばれた時、学習の始まりや終わり、発表や音読をするときなど、１１名しかいないはずなのに何十人もの声に聞こえます。担任の導寺先生の話をしっかり聞いて「張りきって、がんばろう」とする【本気】【やる気】が伝わってきます。立派に成長しました。是非、１年生の教室を覗いてみてください。

★　【あいさつ・そうじ・時間を守る】や毎月のめあてに対する取組に手応えを感じたこと。

一人一人の子どもたちが、合言葉や毎月のめあてを意識して、本当によく頑張っていたと思います。特に休み時間の終わりのチャイムが鳴ると、みんな一斉に走って教室に戻っていきます。「時間を守る」が自然と実現できている姿に感心します。日頃の先生方の指導が徹底しているからですね。このように様々な場面で嬉しい手応えを何度も感じた今学期でした。

―― 本校の教育活動をいつも温かく見守り、強力にバックアップしてくださる
保護者の皆様、地域の皆様のお陰です。心から感謝申し上げます。

＜あとがき＞　　ちょっといい話　　～「道なき未知を行け」～

先日、６年生の道徳科の学習で車椅子バスケットボール日本代表の「福澤 翔選手」をゲストティーチャーとしてお招きしました。６年生は、昨年度も「総合的な学習の時間」で福澤選手と出会い、車椅子バスケットボールやパラスポーツの素晴らしさを教えていただきました。今回も大好きな福澤選手との出会いを楽しみにしていました。４５分間じっくりと福澤選手の話を聴きました。けがのことや車椅子バスケットボールとの出会い、日本代表としての苦労や努力し続けることなど、困難に負けずに立ち上がり、前進し続ける福澤選手の生き方を学び、一人一人が自分自身の生き方についても考えることができました。

そして、福澤選手が好きな言葉「道なき未知を行け」の意味を教えていただきました。それは、難しいことや分からないこと、やったことがなく不安なこと、成功するか心配で勇気がだせないこと、自分とかかわるすべての事に対して、勇気を出し、一歩踏み出すことが大切だと、いうことです。例えば、身近な事として、「授業中に難しくてなかなか答えが出せない問題に手を挙げて答える」こんな些細なことでもその人にとっては、それは未知であり、前へ一歩進んだということになります。このように、福澤選手から今自分が何をがんばるべきなのか、どのように勇気をもつべきなのか、大切なことをたくさん教えていただいた素敵な時間でした。